

馬主だより

第68号

平成26年12月19日
発行 (一社)ばんえい競馬
馬主協会事務局

☆レース予想等情報の充実により新規ファンを取り込み！！

▼気がつけば今年も残すところあとわずか2週間余りとなりました。一年が経つのは本当に早いもので、慌ただしい年の瀬を迎えております。年内の仕事もいよいよラストスパート、最後まで気を抜かず精一杯頑張っ、年明けは新たな清々しい気持ちで迎えたいものです。▼今般、帯広市は、今年度の売り上げが当初予算額108億3,800万円を確実に上回る見通しとの判断から、昨年度に引き続き本年も12月市議会に補正予算案を提案。発売予算額を118億円(当初より9億6,200万円の増。)に増額することが決まりました。▼電話・インターネットの発売が全体の6割以上を占めるまでになりましたが、今後更にこの割合は高くなるでしょう。▼新たな情報提供の一つとして、順ナイター開催(11月22日)より全レースパドック解説とレース予想を開始しました。▼ばんえい競馬はスポーツ紙等の扱いが極端に少ないため、予想するのが難解だと言われております。新規ファンの取り込みにはレース予想等の情報提供が極めて重要であり、そのための投資も必要です。“平地競馬と競技スタイルがまったく違う。初めての人は情報があっても分かりづらい。ましてや情報が少なければ手を出しにくい。etc.”そういったファンの声に応えることが、ばんえい競馬の展望を切り開く事にも繋がっていくのだと思います。新しい年は、情報の充実が売り上げのカギを握る！！

平成26年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催107日間

CB 事業推進課投票グループ資料提供

平成26年12月15日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成26年度			平成25年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	107	1,049,934,400	928,904,700	107	1,079,976,800	113.03	97.22	
直営場外	旭川北彩都	107	637,860,400	593,660,700	107	670,323,700	107.45	95.16
	ミトスポット北見	107	261,187,000	289,607,200	107	326,807,700	90.19	79.92
	ハロンス岩見沢	107	187,897,300	166,493,700	107	214,795,900	112.86	87.48
	ハロンス釧路	107	82,462,400	73,133,700	107	91,802,000	112.76	89.83
	ハロンス名寄	107	93,950,100	85,770,600	107	107,694,200	109.54	87.24
	アプスポット網走	107	89,206,500	95,838,800	107	105,578,600	93.08	84.49
	琴似駅前	107	96,836,300	78,391,900	107	79,011,700	123.53	122.56
	イルムふかがわ	107	87,716,800	99,711,800	48	47,980,000	87.97	182.82
電投	オッズパーク	107	2,935,982,400	2,533,993,000	107	2,596,375,000	115.86	113.08
	OP(七重勝)	107	22,909,500	54,142,000	107	33,422,100	84.56	68.55
	OP(五重勝)	107	22,871,400		107	26,335,700		86.85
	競馬モール	107	1,948,721,100	1,459,445,600	107	1,422,596,700	133.52	136.98
	SPAT4	37	489,116,500	132,306,600	10	55,213,100	369.68	885.87
広域場間場外	—	777,311,100	672,577,600	—	970,177,200	115.57	80.12	
場外・電投計	—	7,734,028,800	6,335,073,200	—	6,748,113,600	122.08	114.61	
合 計	107	8,783,963,200	7,263,977,900	107	7,828,090,400	120.92	112.21	
1日平均		82,093,114	67,887,644		73,159,723	120.92	112.21	

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで107日間)

平成25年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで107日間)

会議等の様子

○ 平成26年度監事中間監査を実施！！

～上半期における理事の職務及び会務の状況等を監査～

平成26年10月18日(土)午後1時30分から当協会会議室において、平成26年4月から9月までの上半期6ヵ月間における理事の職務の執行状況、協会の業務並びに財産及び会計処理の状況について、宝田、堂場両監事により監査が行なわれました。

当日は執行役員を代表して、赤堀代表理事会長、長津専務理事立会の下、事業報告書、財務諸表等について説明。その後、監事から関係資料の内容について、理事及び事務局へ質問等聞き取り調査が行われました。

監査の結果、監事から講評があり、年度当初計画していた流通促進事業の臨時市場開設について、出場馬が見込めないとの理由から中止せざるを得ない状況に至った経緯を踏まえ、年度末に計画している市場開設にあたり、馬主及び調教師に協力を求める。一方で競馬場内における市場以外の取引規制や購買業者等の入きゆう制限等を設けるなど、主催者にも具体的な対応と協力を求め関係者が一丸となって市場開設に協力する体制を築くよう指摘がありました。また、下半期においても、当協会の目的を達成すべくしっかりと事業計画に基づき、各事業を円滑に実施するとともに、健全経営を推進するよう意見がありました。

【監査資料】

資料1 平成26年度事業実施報告

資料2 平成26年4月～9月期決算報告書（財務諸表等）

・貸借対照表・正味財産増減計算書・予算対比正味財産増減計算書・収支計算書・予算推移付収支予算管理月報・財産目録・貸借対照表内訳表・正味財産増減計算書内訳表・収支計算書内訳表・特定資産の増減及びその残高・固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

資料3 参考資料

・各事業に関連する費用額の配賦計算書（給料手当、給料手当以外の経費）・平成26年度機構図・平成26年度ばんえい競馬発売成績

○ 平成26年度第4回執行役員会を開催！！

～出走実頭数維持のため緊急措置 報償費増額を要請す～

平成26年11月2日(日)午前11時から、当協会事務局会議室に於いて、平成26年度第4回執行役員会を開催いたしました。

役員会では、競走馬弔慰金の給付に関し対象馬3頭について審議、原案のとおり可決承認されました。また、過去の発売額と報償費(賞金や出走手当等の移り変わり)について調査、今年度の発売成績や報償費の支給実績、競走馬の登録頭数の推移、開催毎の出走頭数等を前年度と比較。今後、年末に向けて出走申込み頭数が減り、11レースを維持することが困難になる事が懸念されるので、早急に報償費を増額するよう帯広市に要請することになりました。

役員会に引き続き、帯広市ばんえい振興室と意見交換を行い、出走実頭数の現

状維持のため、緊急的措置として報償費の早期増額を要請しました。

これに対し帯広市は、今年度これまでインターネットによる発売が好調に推移したことが発売額を伸ばす要因となり、現状、前年対比 112.44%(11月1日終了時)という状況を踏まえ、年度当初の発売予算額を見直すことに伴い競馬開催費を増額するため、12月議会に補正予算案を提出する考えを示しました。

補正の概要については、馬券の発売額や払戻金の増額その他、報償費についても1,500万円程度増額を検討しているとの説明があり、2歳新馬の出走手当は、年明け3歳になっても現行の4万円を維持する考えで、賞金については、普通、特別競走をクラス毎に差をつけ1レース平均約3万円程度増額。また、帯広記念は1着賞金150万円(現行120万円)に、ばんえい記念は500万円(現行300万円)にそれぞれ増額する考えがある事を示しました。

注:上記、補正予算案については、本年12月帯広市議会に於いて原案のとおり可決承認され、報償費増額による賞金・諸手当の変更概要については、別紙「報償費等の改定」のとおり決定されました。

【第4回執行役員会議事】

- (1)競走馬弔慰金の査定について
- (2)発売成績及び報償費の支給実績について
- (3)報償費の増額について
- (4)その他

【馬弔慰金支給対象馬】 3頭 1,500,000円

(単位:円)

馬名	年齢	馬主	給付別	馬弔慰金
ブラックサイモン	2	森 信 成	業務中	500,000
ゴールドテン	3	佐 藤 實	業務中	500,000
ガンバレットウホク	3	小 松 功	業務中	500,000

○ 帯広市議会議員と意見交換会を開催！！

～ばんえい競馬の現状と課題について検討 協力を求める～

平成26年11月6日(木)午後5時30分から約1時間半に亘、当協会事務局会議室に於いて帯広市議会議員5名と当協会理事4名でばんえい競馬に関する意見交換会を行いました。

競走馬の減少、報償費と預託に係る費用の関係、生産者の高齢化と馬産振興について、観光資源としてのばんえい競馬、ばんえい競馬の積極的なPRと発信について、ばんえい競馬開催による経済波及効果について等、様々な意見が出され、ばんえい競馬の更なる発展のために、帯広市議会議員各位の今後益々のご支援とご協力をお願い致しました。

【帯広市議会議員出席者】

- 小森 唯永 議員(産業経済委員会)
- 有城 正憲 議員(総務文教委員会)
- 北口 孝志 議員(総務文教委員会)
- 富井 司郎 議員(総務文教委員会)
- 熊木 喬 議員(建設委員会)

【当協会役員出席者】

- 赤堀 幸英 代表理事会長
- 長津 雄二 専務理事
- 氏原 守男 理事
- 広瀬 豪 理事

○ 第5回執行役員会開催！！

平成26年11月30日(日)午前10時30分から当協会事務局会議室に於いて、平成26年度第5回執行役員会を開催しました。

役員会では、2015年お正月イベント「新春初夢抽選会」企画(案)について審議、また、役員会終了後、引き続き帯広市ばんえい振興室と競走馬の診療体制等の課題と今後の対応策について、意見交換を行いました。

【第5回執行役員会議事】

- (1)競走馬の診療体制の課題と今後の対応策について
- (2)その他
 - ① 次回理事会の予定について
 - ② 2015年お正月イベント新春初夢抽選会企画(案)について

○ 第6回執行役員会 第4回理事会を開催！！

～次年度ばんえい競馬に関する陳情書取り纏め行う～

平成26年12月13日(土)午前11時から平成26年度第6回執行役員会を開催、競走馬弔慰金の査定については、原案のとおり可決承認され、第4回理事会に先立ち事前打合せを行いました。午後1時30分から引き続き第4回理事会を開催致しました。

理事会では、今後の診療体制について、ブロック懇談会の日程調整、平成27年度のばんえい競馬に関する意見、要望、提言等陳情事項の取り纏めを行いました。

【第6回執行役員会議事】

- (1)競走馬弔慰金の査定について
- (2)平成26年度第4回理事会議案について
- (3)その他

【馬弔慰金支給対象馬】 1頭 500,000円

内 訳 (単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
オシマリキ	7	高田 克巳	業務中	500,000

【第4回理事会議事】

- | | | |
|-----|--------|------------------------------|
| 日程1 | 報告第1号 | 監事中間監査の報告について |
| | 報告第2号 | 競走馬弔慰金の給付額の決定について |
| | 報告第3号 | 内国産農用種雄馬購買の第二次予備選抜結果 |
| | 報告第4号 | 正会員の入会申込みについて |
| 日程2 | 報告第5号 | 発売成績及び報償費の支給状況等について |
| | 報告第6号 | 補正予算措置に伴う報償費の増額について |
| 日程3 | 協議案第1号 | 十勝ドラフトホースクリニック閉鎖通知について |
| 日程4 | 協議案第2号 | 平成26年度ブロック懇談会の日程調整及び懇談事項について |

- 日程5 協議案第3号 次年度ばんえい競馬に関する意見、要望、提言等について
 日程6 其 の 他 ① 代表理事会長の動向について
 ② 2015 年お正月イベント企画(案)について

【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
26- 6	中 川 清	北14-09	道南ブロック
26- 7	小 森 唯 永	北14-10	道東ブロック
26- 8	(株) 大 阪 畜 産	法14-1214	道北ブロック

情報・ご案内

**○ 平成26年度のばんえい馬定期登録検査日程決まる！！
 ～3月11(水)・12(木)及び3月25(水)、26日(木)～**

新馬登録申請については、先にご案内のとおりですが、この度、地方競馬全国協会から当該申請をした馬について、ばんえい馬登録検査の日程が次のとおり示されましたのでご案内いたします。

なお、来年4月予定の第1回能力検査を受検するには、当該定期馬登録検査(下記日程)を受けておくことが必要です。

また、第2回能力検査の一週間前及び能力検査当日に登録検査を行なう予定です。4月以降の馬登録検査日程については、後日お知らせいたします。

検査日時等お間違えのないよう、あらかじめ調教師毎に検査日を指定しますので、詳細につきましては、預託予定の調教師へ事前にご確認ください。

【定期馬登録検査日程及び場所】

検査日時	検査場所
平成27年3月11日(水) 9:00～ 平成27年3月12日(木) 9:00～	帯広競馬場 装鞍所
平成27年3月25日(水) 9:00～ 平成27年3月26日(木) 9:00～	

【馬登録検査時の注意事項】

1. 検査時に特徴の違う馬が発見されたら、その馬の経路等を調査確認するので、分かるようにしておくこと。
2. 馬に轡(くつわ)を装着して受検すること。
3. 馬体の汚れを落として受検すること。

○ 全道祭典ばんば1才馬決勝大会

～雄馬ホクセイキカンボ号 雌馬タケノカゲヒメ号が優勝！！～

今年も道内の草ばんば等で活躍している1才馬の全道チャンピオンを決める「全道祭典ばんば1才馬決勝大会」(主催:北海道輓用馬振興対策協議会)が開催されました。

昨年度のこの大会、競馬場内で蔓延したウイルス性疾患の影響もあり、準備等が遅れたため雄雌混合による1レースの実施でしたが、本年度は、雌の部10月25日(土)と雄の部10月26日(日)の2日間の開催となりました。

レースは初日雌馬の部で1頭の出走取消があり8頭(積載重量330kg)が出走。翌日雄馬の部でも8頭(同350kg)が出走しました。

雌馬の部は、道南地区選抜(馬主協会枠)タケノカゲヒメ号(所有者・生産者:大竹武)が優勝。雄馬の部は、ホクセイキカンボ号(所有者:廣川利明、生産者:村上英雄)が見事優勝を果たし、1才馬の頂点に輝きました。来年からのご活躍に期待が高まります!!おめでとうございます。

【平成26年度 全道祭典ばんば1才馬決勝大会成績表(雌馬の部)】

着順	枠番	馬名	性	選抜地区	所有者	生産者	騎手	馬体重	タイム
1	4	タケノカゲヒメ	雌	道南	大竹 武	大竹 武	島津 信	750	1:25:9
2	2	マツカゼクイン	雌	上川	松井 浩	佐藤昭三郎	古谷 輝紀	770	1:27:7
3	5	ベツカイヒメ	雌	釧路	安藤 和治	岩渕 文雄	平井 俊幸	700	1:56:1
4	6	ハツハル	雌	根室	山崎 勇	山崎 勇	山崎 勇	650	2:00:3
5	8	モモ	雌	十勝	加藤 信一	立川 芳枝	加藤 信一	700	2:41:9
中止	1	セイリン	雌	根室	杉岡 正美	杉岡 正美	加藤 勇	580	—
中止	3	ブレーブテンカ	雌	釧路	長谷川義信	長谷川義信	長谷川義信	650	—
中止	9	イクミファイター	雌	釧路	長谷川義晃	長谷川義晃	寺澤 卓馬	650	—
取消	7	コウカヒメ	雌	釧路	藤田 千代	藤田 千代	長谷川孝志	680	出走取消

【平成26年度 全道祭典ばんば1才馬決勝大会成績表(雄馬の部)】

着順	枠番	馬名	性	選抜地区	所有者	生産者	騎手	馬体重	タイム
1	1	ホクセイキカンボ	雄	十勝	廣川 利明	村上 英雄	寄木 貴広	850	1:13:1
2	8	ホクショウイチバン	雄	道南	井内 昭夫	小野田喜一	島津 信	750	1:33:0
3	3	ヤマトタイショー	セ	根室	大河原昭雄	藤田 千代	安藤 和治	700	1:34:7
4	5	スイホウ	雄	道南	水島 幸美	山本 信達	水島 幸美	750	1:34:9
5	7	アアモンドタカラ	雄	根室	下内美繪子	加藤 勇	下内 秀勝	700	3:34:6
中止	2	オーシャンスター	雄	釧路	舘野 竜一	舘野 竜一	舘野 竜一	720	—
中止	4	オビヒロノホシ	雄	十勝	廣川 利明	佐渡 孝徳	綱村 裕幸	800	—
中止	6	キタノニオク	雄	釧路	尾屋 保博	尾屋 保博	平井 俊幸	700	—

○ ばんえい競馬コース使用方法 10月25日から変更！！

～本走路砂の摩耗均等のためレースごとに使用コース変更～

ばんえい競馬は、これまで1開催6日間の前後半(前半3日間と後半3日間)でコースの使用を分けていましたが、今般、レースで使う本走路の砂の摩耗をこれまで以上により均等にするための措置として、出走馬が9頭以下の場合には、レースごとにコースの使用を変更いたしました。

新たな使用法は、平成26年度第15回開催(平成26年10月25日)より、下記のとおりコースの使用法が変更となっています。

【コース使用方法と変更の内容】

1. コース使用方法 変更内容

レースごとに内詰めと外詰めと交互に使用する。

2. 変更詳細

① 開催日が奇数日の場合(1日目、3日目、5日目)

奇数レースを内詰め(1コース側)とし、偶数レースを外詰め(10コース側)とする。

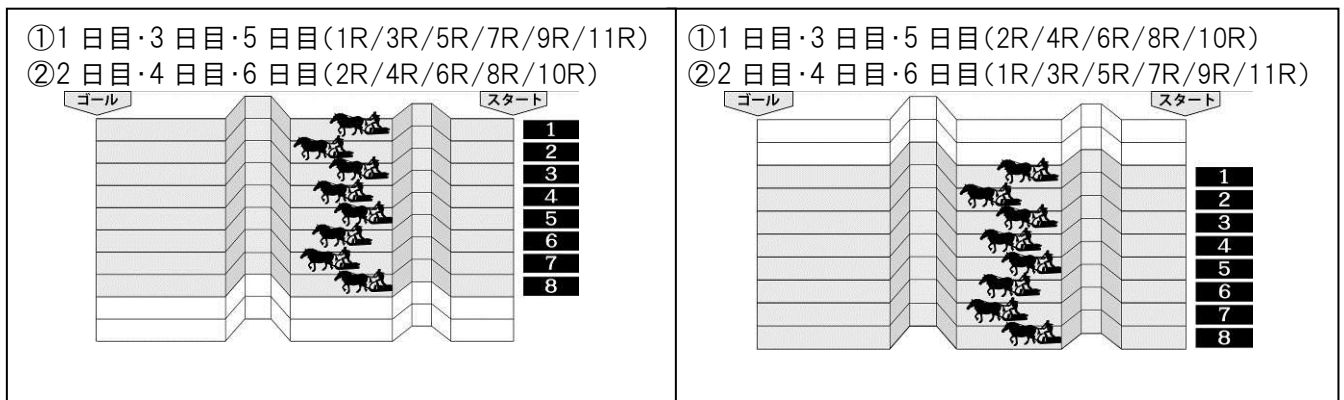
② 開催日が偶数日の場合(2日目、4日目、6日目)

偶数レースを内詰めとし、奇数レースを外詰めとする

3. 変更実施日

平成26年10月25日(土)第15回開催～

4. 具体例(8頭立てのレースの場合)



5. 備考

ばんえい競馬の場合、1開催とは土・日・月曜日と、翌週土・日・月曜日の計6日間が基本で、1開催を通して1日目から6日目と表記をします。出走表のタイトルで確認することができます。

<出走表 例>

② 平成26年度 帯広市 第14回 ばんえい競馬 2日目 出走表

病気、事故等による出走取り消し、騎手の変更、重量の変更などは出馬掲示板に公示しますから御対照下さい。
 御注意 勝馬投票券の種類は単勝式、複勝式、馬券連勝複式、馬券連勝単式、三連勝複式、三連勝単式です。
 騎手重量は77kgです。減量騎手は、ばんえい重量より△印は20kg、★印は10kg減量しています。

主催 帯広市

枠番	馬番	馬名	ばんえい重量	騎手	毛色	性別	年齢	血統	父	母	馬主(調教師)	枠番	馬番	馬名	ばんえい重量	騎手	毛色	性別	年齢	血統	父	母	馬主(調教師)

※年末年始や3月末など不規則な開催日程もございますので、開催日程につきましては、ばんえい十勝オフィシャルHPをご確認頂くか、ばんえい競馬広報(電話 0155-34-0825 帯広競馬場代) ※水・木曜除くまでお問い合わせください。

○ 2014 年度“十勝当才馬展示会”開催される！

～将来のばんえい候補馬としてPR えりすぐりの当才馬19頭出品～

平成 26 年 11 月 5 日音更町の十勝農協連家畜共進会場で2014 年度十勝当才馬展示会(主催:十勝馬事振興会、同振興会青年部会、十勝農協連)が開催されました。当才馬展示会は、十勝管内における輓系馬の改良と生産意欲を高めるため、改良育成技術と馬産経営の向上に寄与し、また、将来のばんえい競走馬になる候補馬としてPRするのが目的です。

平成 26 年生まれのえりすぐりの 19 頭(雌 12 頭、雄 7 頭)が十勝管内5農協から出品されました。会場では、展示馬1頭ごとの側尺値や血統、ばんえい競馬で活躍している(活躍していた馬を含む。)兄弟馬等の個体展示と集合展示が行われました。展示馬の審査については、家畜改良センター十勝牧場業務第二課馬係長の久保喜広氏が各馬の飼育管理状況等について審査、講評がありました。

○ 工藤 篤騎手 キタノオーロラ号で通算1,000勝達成！！

～12月21日(日)帯広競馬場にて表彰式予定～

工藤 篤騎手(44)は、2014 年 12 月 8 日(月)第 8 競走でキタノオーロラ号に騎乗し、通算 1,000 勝を達成しました。ばんえい競馬史上 23 人目、現役では 12 人目となります。なお、1,000 勝達成の表彰式については、12 月 21 日(日)に帯広競馬場に於いて行う予定です。注:表彰式等詳細につきましては、ばんえいHPにてご確認ください。

<http://www.banei-keiba.or.jp/>

＜工藤 篤騎手のプロフィール＞(2014 年 12 月 8 日第 8R 終了時)

所属厩舎:西邑春夫厩舎

出身地:青森県弘前市

誕生日:1970 年 5 月 18 日(年齢:44 歳)

初騎乗:1992 年 4 月 18 日(騎乗馬:ナオスタカラ号)

初勝利:1992 年 5 月 24 日(騎乗馬:コーネルトップ号)

生涯成績:10,309 戦 1,000 勝(内重賞競走 2 勝)

主な戦績:2007 年ホクレン賞、2007 年イレネー記念

○ 渡来騎手はヒカルフェニックス号で通算100勝達成！！

～デビュー5年目 注目の若手ジョッキーに期待～

渡来心路騎手が、2014 年 12 月 13 日(土)第 1 競走ヒカルフェニックス号にて、通算 100 勝を達成致しました。年明け 1 月 9 日でデビューから 5 年となりますが、本年度の騎乗数は 220 戦 22 勝勝率 10%(12 月 13 日第 1R 現在)と、今後も注目の若手騎手のひとりです。

＜渡来 心路(わたらい こころ)騎手のプロフィール＞

(2014 年 12 月 13 日第 1R 終了時)

所属厩舎:小林長吉厩舎

出身地:帯広市

誕生日:1989 年 4 月 17 日(年齢:25 歳)

初騎乗:2010 年 1 月 9 日(騎乗馬:ユウセンスピード号)

初勝利:2010 年 2 月 13 日(騎乗馬:ユウセンスピード号)

生涯成績:1,002 戦 100 勝

レース情報

○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
10月12日	第37回 ナナカマド賞	センゴクエース	千石 貞子	槻館 重人
10月26日	第35回 北見記念	フクドリ	広瀬 豪	皆川 公二
11月2日	第39回 ばんえい菊花賞	ハクタイホウ	田中 春美	久田 守
11月9日	第39回 クインカップ	ナナノチカラ	赤鷹 秀人	小北 栄一
11月23日	第5回 ドリームエイジカップ	インフィニティー	駒井 鉄雄	金田 勇
11月30日	第39回 ばんえいオークス	キサラクク	青山 修	金田 勇

優勝おめでとうございます！！

◆ 第37回ナナカマド賞（2歳オープン）

10月12日(日)は重賞・ナナカマド賞(2歳オープン)が行われ、単勝1番人気のセンゴクエースが優勝。デビューからの5連勝で、この世代最初の重賞ウイナーとなりました。

キャリアにまさるコウシュハ2騎や重量恩典のある牝馬勢も魅力たっぷりでしたが、注目はやはり無敗の快進撃を続けるセンゴクエース。今シーズン初の2歳重賞で素質の高さを見せつけるか、注目が集まりました。

馬場水分は1.9%と低めでしたが、基礎重量570キロだけに、各馬の脚どりは軽快。コウシュハスパーク、ホクショウキズナがわずかに遅れていたものの、ほぼ横一線で障害中間点を通り、第2障害を迎えました。最初に仕掛けたのはセンゴクエース、ワタシハサクランボ、ホクショウモモの3頭。なかでもワタシハサクランボが抜群の登坂を見せて先頭で突破。一瞬ヒザを折ったセンゴクエースでしたが、即座に立て直して2番手で続き、仕掛けを若干遅らせたテンカウイツが3番手でクリア。以下ホクショウキズナ、ホクショウモモと続き、勝負権はほぼこの5頭に絞られました。しかし先頭を行く2頭は快調。センゴクエースが障害を下りた直後に先頭に立ち、ワタシハサクランボも懸命にこれに食い下がります。一進一退の攻防が続きましたが、残り20メートルを切ったところで、ワタシハサクランボの脚いろが鈍り始めます。それを尻目にセンゴクエースは差を拡大。逆にワタシハサクランボは9番人気テンカウイツの追撃に遭う苦しい展開となりました。結局、センゴクエースがそのまま逃げ切り、初タイトルをゲット。ジリジリと差を詰めたテンカウイツが残り5メートルでワタシハサクランボをかわし、2着入線を果たしました。

勝ったセンゴクエースは、これで5連勝。父ウンカイ譲りのパワー、母サダエリコ譲りのスピードを武器に、破竹の勢いを見せています。ファン垂涎の良血馬が、今後どのような成長を見せるのか。将来が本当に楽しみな一頭です。

◆ 第 35 回北見記念（3歳以上オープン）

10月26日(日)は重賞・北見記念(3歳以上オープン)が行われ、単勝6番人気のフクドリが優勝。26度目の重賞挑戦で、悲願の初制覇を果たしました。

基礎重量850キロの高重量戦。これだけ重量が増えてくると、最大ハンデ差30キロというのも重くのしかかります。一長一短があるメンバー構成で、オッズも割れ加減。まれに見る混戦模様のなか、馬場水分2.0%でスタートが切られました。

高重量戦とあって、道中はゆったりとしたペースで横一線。どの馬がペースを握るといってもなく、各馬とも他馬の出方をうかがいながらレースは進みました。真っ先に第2障害に挑んだのはホリセンショウ。それを見てインフィニティーも仕掛けます。静観していた各馬ですが、ひと呼吸置いてから一気に仕掛け始めます。しかし、どの馬もなかなか天板に脚をかけることができず大苦戦。それでも渾身の力を振り絞ってインフィニティーが障害を越え、ホクショウユウキもなんとかクリアし、これに食らいつきます。やや離れてきたノタイショウ、ホリセンショウ、フクドリ、さらに離れてニュータカラコマが突破しました。

先頭に行く2頭の争いは激しく、残り30メートルを切ったところでホクショウユウキが前へ。しかし、その内から次元の違う脚でグイグイと伸びてきたのがフクドリ。持ち前の末脚をフルに発揮し、残り10メートルの手前でインフィニティーを捕らえると、さらにホクショウユウキも射程圏に。そのホクショウユウキは残り5メートルあたりで脚いろが鈍り、ゴール直前では完全に併走状態に。こうなれば、末脚に絶対の自信を持つフクドリのパターン。ゴール線上でグイッと抜け出し、先頭で荷物を運び切りました。ホクショウユウキは0秒6差で入線。さらに2秒7差の3着にインフィニティーが入りました。

フクドリは重賞に挑戦すること26回目。今年のばんえい記念など、重賞での2着は4回を数えます。実力と、その切れのある末脚は誰しもが認めるところでしたが、これで名実ともに古馬トップクラスの1頭として、堂々と名を連ねることになりました。今後はより馬場が乾燥し、高重量戦も増えてくる季節。さらなるタイトル奪取が期待できそうです。

惜しかったのはホクショウユウキ。岩見沢記念に続くビッグタイトルが、ゴール寸前ですりりと抜け落ちてしまいました。ただ、今回はホクショウユウキとしても完璧な勝ちパターンであり、結果的にそれを差し切った勝ち馬の末脚の鋭さをほめるべき。地力の高さは明らかで、引き続き重賞戦線で活躍してくれるに違いありません。

◆ 第 39 回ばんえい菊花賞（3歳オープン）

11月2日(日)は重賞・ばんえい菊花賞(3歳オープン)が行われ、単勝1番人気のハクタイホウが優勝。トップハンデ710キロをものともせず、騎乗した赤塚健仁騎手とともに重賞初制覇を果たしました。

トップハンデ(710キロ)のハクタイホウ、ホクショウマサルと、最軽量(670キロ)のアサヒメイゲツ、アアモンドセブンとの重量差は40キロ。微妙な重量設定となりましたが、最終的には古馬A2戦でも好勝負を演じているハクタイホウが2.4倍で1番人気。2走前の秋桜賞でハクタイホウを2着に負かしているアサヒメイゲツが3.8倍で、この2頭が実績、ハンデの両面から優勢と見られました。馬場水分は3.5%でゲートオープン。

軽めの馬場状態ということもあり、ペースはやや速め。第1障害を越えたあたりで各馬とも脚を止めますが、ひと息入れてはすぐに歩き出し、速いテンポで推移。中間点過ぎでシンザンボーイ、アアモンドセブン、アオゾラシンスケ、ホクショウマサルなどが先行。他馬は若干遅れたものの、差なく第2障害にたどり着きました。

最初に仕掛けたのはシンザンボーイとホクショウマサル。それを見て各馬もいつせいに動き出しますが、なかでも抜群のかかりを見せたのがハクタイホウ。多少体勢を崩しながらも荷物を天板に曳き上げ、先頭で障害を突破しました。やや遅れてシンザンボーイ、アオゾラシンスケ、アアモンドセブンがクリア。そしてカンシャノココロ、キサラキク、カISINGキ、ホクシヨ

ウメジャーも障害を越え、次々と追撃態勢に入りました。完全に抜け出したハクタイホウは、けって切れのある脚を見せているわけではありませんが、それでも後続との差を保ちつつ、懸命に前進。追ってくる2番手以下は横一線も、残り20メートル付近でキサラキがこの集団から抜け出しにかかります。これにカインゲキが食い下がり、さらにアサヒメイゲツもジワジワと差を詰めます。しかし、先頭のハクタイホウは赤塚騎手の鼓舞に応え、しぶとい粘りを発揮。後続も激しく追い上げましたが、結果2着のキサラキに1秒3差をつけ、ハクタイホウが初の重賞タイトルを手に入れました。2着からさらに2秒差の3着にはカインゲキが入線しました。

ハクタイホウはこれまでイレネー記念、ばんえい大賞典とともに2着、ナナカマド賞で3着と世代トップクラスの力を示してきましたが、重賞は今回が初制覇。名実ともに3歳世代のトップクラスとして、名を連ねたこととなります。馬場が味方した面もありますが、重量を課せられながらも逃げ切ったあたりは実力の証明。ばんえいダービーも含めて、今後の活躍がおおいに期待されます。黒ユリ賞馬キサラキは切れのある末脚を発揮して2着を確保。牝馬3頭のなかではもっとも重い680キロを課せられていただけに、価値のある2着といえます。今後が楽しみになる好内容だけに、ばんえいオークスでも注目の存在となりそうです。

◆ 第39回クインカップ（4歳牝馬オープン）

11月9日(日)は重賞・クインカップ(4歳牝馬オープン)が行われ、単勝1番人気のナナノチカラが優勝。黒ユリ賞、ばんえいオークスに続く重賞3勝目を挙げ、世代牝馬の頂点を極めました。

710キロを課せられた実績馬4頭が上位人気に推され、これに690キロのフジノルビーがどこまで食い込めるか、といった構図。馬場水分1.5%のパワーを要する馬場が、この重量差でどう作用するかが焦点となりました。

各馬とも曳き慣れた700キロ前後の重量ということもあって、行き脚は軽快。特にキタノチャンネルが抜群の行きっぷりを見せて、グイグイと引っ張ります。セイコークイン、コウシュハクイーンがこれを追走し、馬群は伸び縮みを繰り返しながら第2障害を迎えました。真っ先に仕掛けたのはキタノチャンネル。一気に天板まで登り詰め、ゆうゆうと障害を下りていきます。しかし、差なくクインフェスタが続き、やや遅れてナナノチカラ、セイコークイン、コウシュハクイーンがクリア。キタノチャンネルを巡って、710キロ勢が追撃態勢に入りました。

しかし、勝負はあつけなく終幕を迎えます。キタノチャンネルは障害を越えたところでクインフェスタにかわされて失速。そこへ1番人気のナナノチカラがギャロップで襲いかかり、残り20メートル付近で先頭に立ちます。こうなれば、末脚に絶対の自信を持つナナノチカラの独壇場。クインフェスタも懸命に食い下がろうとしますが、脚いろの差は歴然で、そのまま1秒6差をつけてナナノチカラが先頭でゴールしました。2着クインフェスタから8秒8差の3着にセイコークインが入り、4着にはコウシュハクイーンが入線。710キロ勢の4頭が上位を独占しました。

抜群の切れ味を発揮して重賞3勝目を挙げたナナノチカラ。これでこの世代の牝馬重賞は総なめにしたこととなります。柏林賞でも3着があるように牡馬混合重賞でも好勝負ができる器で、1月の天馬賞でも要注目の存在となりそうです。

◆ 第5回ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）

11月23日(祝・日)は重賞・ドリームエイジカップ(4歳以上、馬齢選抜)が行われ、単勝9番人気の8歳馬インフィニティーが優勝。今年のばんえい記念以来となる重賞3勝目を挙げ、完全復調を示しました。キタノタイショウ、ニュータカラコマがトップハンデながら1、2番人気に推されましたが、6頭が単勝ひと桁という、まれにみる大混戦。展開次第でどの馬にもチャンスがあると見られ、馬場水分2.3%の中、スタートが切られました。

道中はトレジャーハンターが馬群をリードし、これをインフィニティーがマークする形。以下は多少離れて横一線で、そのままの隊列で第2障害を迎えました。ここでもトレジャーハンターが積極的に仕掛け、ほぼ同時にインフィニティーも登坂を開始。2頭がまるでマッチレースをしているかのように、並んだまま障害を突破しました。やや離れた3番手でオレノココロがクリアし、以下コウシュハウカ、オイドン、ニュータカラコマが続きます。先頭の2頭は併せ馬の状態で一進一退の攻防を繰り広げますが、残り20メートル付近でトレジャーハンターが失速。インフィニティーも多少脚いろが鈍りましたが、追撃する他馬の脚いろも今ひとつ。わずかにオイドンが伸びてきたものの、かわすには至らず、結局1秒8差をつけてインフィニティーが勝利しました。2着のオイドンから2秒差の3着にはオレノココロが入線。3連単は24万超の大波乱となりました。

今シーズンもばんえい十勝オッズパーク杯2着、北見記念3着と、随所で力を示していたインフィニティー。トップハンデとは20キロ差があり、重量に恵まれた面は否めませんが、積極的に運んで勝ち切ったレースぶりには、いい頃の力強さがうかがえました。王者復権なるか、今後の走りに注目です。

◆ 第39回ばんえいオクス（3歳牝馬オープン）

11月30日（日）は重賞・ばんえいオクス（3歳牝馬オープン）が行われ、単勝1番人気のキサラククが優勝。黒ユリ賞に続く重賞2勝目を挙げ、3歳牝馬の頂点に立ちました。2走前のばんえい菊花賞で、牡馬相手に2着となったキサラククが断然の1番人気。そのばんえい菊花賞で4着のアサヒメイゲツが2番人気で、この2頭が抜けた人気。やや離れた3番人気に黒ユリ賞2着のアアモンドセブンと、定量戦らしく重賞で実績を残してきた各馬が上位人気に推されました。馬場水分2.1%と多少乾いた中で、女王の座を巡る熱戦の火ぶたが切れて落とされました。

各馬とも息を入れながらの展開で、道中はほぼ横一線。どの馬が主導権を握るということもなく、そのまま第2障害を迎えました。ひと呼吸入れて仕掛けたのはフェアリードール。それを見て、キサラククも即座に動き、アサヒメイゲツ、アアモンドセブンといった人気どころも登坂を開始します。しかし、キサラククとフェアリードールが抜群のかけりを見せ、並んで障害を突破。やや遅れてアアモンドセブン、ツルマキイチバンもクリアし、追撃態勢に入ります。

しかし、ここからキサラククが格の違いを見せつけます。フェアリードールを一気に引き離すと、軽快な脚どりでゴールへ一直線。残り10メートルを切ってもそのスピードは衰えず、乾いた馬場に苦む他馬を尻目に先頭でゴールを果しました。障害を越えてから抜群の末脚を發揮したツルマキイチバンが2番手に上がり、そのままゴールするかと思われたところ、ゴール線上でストップ。終始歩き続けたフェアリードールがこれを差し返して2着を確保しました。立て直したツルマキイチバンが3着で、以下アアモンドセブン、アサヒメイゲツと入線しました。

勝ったキサラククは、さすがといったレースぶり。もともとしまいの脚に定評のある同馬が先頭で障害をクリアしたなら、その時点で勝利を手にしたようなものでしょう。同重量で、同世代の牝馬が相手なら、一枚上の存在であることを示しました。今後も世代限定重賞では要注目の存在となるに違いありません。黒ユリ賞では7着だったフェアリードールが、今回は2着を確保。ここへ来てジワジワと馬体重が増えていることから、成長途上であることは明らかです。止まることなく歩き続けたレース内容も良く、さらなる成長次第でタイトルも見てくることでしょう。

3着ツルマキイチバンは痛恨の線上ストップ。とはいえ、この馬も着実に力をつけているのは明らかで、持ち前の切れ味をいかに発揮できるようになれば、今後も重賞戦線をにぎわす存在となるでしょう。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。